



いなほ

稻積神社社報
第7号

平成9年5月3日発行



稻積神社拝殿屋根替え改修工事

並境内整備事業に御協力下さい。

例大祭式次第

(修祓)

宮司一拝
宮司御扉を開く

神饌を供す

宮司神前に祝詞を奏す

玉串拝礼

宮司遷御の祝詞を奏す

宮司發御の祝詞を奏す

宮司一拝
宮司御扉を開く

平成九年度正ノ木
例大祭神賑行事(予定)

五月二日(金)

献木祭 午前十時

甲府商工会議所(境内)

前夜祭 午後六時(社殿)

演芸 午後七時(舞台)

五月三日(土)

大祭 午前十時

神輿渡御 午前十一時(四時)

甲府囃子 午後一時(午後二時)

正ノ木さんの歌 午後六時半(舞台)

奉納発表会

カラオケ大会 午後六時(午後九時)

五月四日(日)
田代ひばり歌謡ショー(終日)

五月五日(月)

終了祭 午後六時(舞台)

神樂 終日(舞台)

午後六時(社殿)

祝日（祝日には国旗を掲げましょう）



稻積神社

宮司 根津泰昇

稻積神社

日本の歴史、文化、風習は、

祝日という特別な日があることにより身近に考え、触れる事ができます。

祝日とはどんな日でしょうか。

祝日とは、ふだんの日と区別され、人々がこそつて祝い感謝、記念する日として法律で定められた日です。祝日は年間十四日あります。

一月一日（元旦）

一年の始めを祝う日。
一月十五日（成人の日）
大人になった事を自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝う日。
二月十一日（建国記念の日）
建国を忍び、国を愛する心を養う。

三月二十日（春分の日）

自然を称え、生物をいつくしむ。

四月二十九日（みどりの日）
自然に親しむと共に、その恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ。

五月三日（憲法記念日）
日本国憲法の施行を記念し國の成長を期する。

五月五日（こどもの日）
子供の人格を重んじ、子供の幸福を願う。

七月二十日（海の日）

海の恩恵に感謝し、海洋国日本を繁栄を願う。

九月十五日（敬老の日）

多年に渡り社会に尽してきた老人を敬愛し、長寿を願う。

九月二十三日（秋分の日）

祖先を敬い、亡くなつた人を偲ぶ。

十月十日（体育の日）

スポーツに親しみ、健康な身心を培う。

十一月三日（文化の日）

勤労をたつとび、生産を祝い、自由と平和を愛し、文化を進めめる。

十一月二十三日（勤労感謝の日）

勤労をたつとび、生産を祝い、国民互に感謝しあう。

十二月二十三日（天皇誕生日）

天皇陛下の誕生を祝う。

以上のように祝日は、日本の歴史や文化、宗教などからそれぞれ祝い、感謝し、記念すべき事柄にちなんで決められた特別の日です。ですから祝日は、仕事を授業を休み、特別な日として生活することで歴史、文化、宗教などを共にする社会の連帯性が確められます。

祝日には、国旗を掲げ、独特な由来に思いをよせ有意義な祝日を過したいものです。

あしあと

七五三詣

平成八年の七五三詣も近年の傾向と同じく、十一月十五日前後の土・日曜日に参拝する方が多かった。

この人生儀礼は、古来男女三才になると髪置の祝、男児五才になると袴着の祝、女兒七才になると帶解の祝として夫々行なわれて来た。これらの儀礼は節目の年に子供の成長を祈り、やがて一人前と認められ氏子入りの習慣から、神詣が行なわれたのに依る。

今年より予約制ではあるが神社に於て記念写真を撮る事もでき、良い記念になると好評でした。

初詣

今年も境内は元旦午前零時の号鼓を待つ大勢の参拝者で賑わいました。

昨年より設置した参道両脇の提灯の明りが浄暗を照らす中で、新なる一年の御加護を戴こうと参拝者の列が隣接の公園の通路までつづいていました。

又境内社の天満天神社にも

受験生や学生の方のお参りが多く見られました。

針供養祭

第三十一回の針供養祭を二月八日に斎行致しました。

裁縫には針を欠く事は出来ませんが、二月八日この一日は針仕事を休み、針の労苦を思い、軟かいコンニャクに針を刺し、裁縫守護の神恩に感謝して行なわれる祭である。

当日は、山梨県和服裁縫組合、日本和裁士会山梨支部の関係者その他、一般の方の参拝も多く見られました。

賑やかに節分祭斎行

郷土方士の富士桜闘の引退

に伴い中断していた節分祭を今年二月四日再開致しました。

節分とは季節を分つの意で

氣候の移り変わる時節、即ち立春、立夏、立秋、立冬の前日を云う語であったが、それ

が何時の頃よりも、立春前日のみの特称とされるようになつた。

当日は、年男、年女、厄年

の方の撒く福豆を受けようとする人々で大変賑わいました。

地良い疲れと共に無事帰宅。
平成九年二月十六日
稲積スキー部長 松田裕

ゴルフコンペ開催

去る三月十九日、甲府国際

カントリークラブに於て、第四回の神社関係者ゴルフコンペが総勢二十四名の参加を得て行なわれた。

評判の難コースに各参加者悪戦苦闘の末、無事全員ホーラウド、会場を太田町割烹きよ春に移し表彰式、懇親会を行なった。

主な結果は次の通り
優勝 塩島 喜代則氏
準優勝 樋川 久氏
B・G 金丸達郎氏

次回は九月頃を予定しています。

青年会スキーツアー

毎年恒例の稲積スキーツアー

が一月十六日行なわれました。

最近の子供達は外で遊ぶ事

が少なく特に冬はファミコンなどで家に閉じ籠り勝ですが

今日は親子共に自然の中でスキーを通じ親子のスキンシップが図られ又スキーを通じての友達とも交流が深められ楽しい一日を過す事が出来、心

正ノ木さんの歌奉納

作詞・五味とめ子、作曲・一瀬公弘、両氏により正ノ木さんの歌が作られました。

心、和みおもわす童心に帰

り思い出が甦り心あたたまる歌ですので多くの皆様に覚えて戴きたいと思います。

奉納発表会は五月三日午後

六時半より神社特設舞台で行なわれます。

正ノ木さん

一田んぼにれんげの花が咲きさくらの便りがおわる頃

正ノ木さんがやつて来るキラキラ輝く白をうけて

お花がいっぱいならんでる母さんつみ草する頃に

正ノ木さんがやつて来る二お庭にほたんの花が咲き

神社のかぐらも賑やかに屋台にわたり菓子ならんでる

正ノ木さんがやつて来る三お空にすいすい鯉のぼり

カラカラ矢車まわる頃

正ノ木さんがやつて来る買つたお花をだいじに

みんなにこにこ楽しそう持つて

神輿渡御御旅所

大冠酒造株式会社
のざわふとん店
第一物産株式会社
弥助鮨水沢勇三
久保田たつみ
飯室商店石坂石材
株式会社菱和園
割烹きよ春塩島

オウム施設解体棟切り祭

去る三月四日、上九一色村より

富士ヶ嶺において、オウム真理教施設解体の棟切り祭を斎

行致しました。

この祭は、上九一色村より

当神社が依頼を受け執り行なわれたもので、当日は渡辺村長を始め、阿部管財人、解体工事に当たる社団法人山梨県

産業廃棄物協会その他の関係者又大勢の報道関係者が集ま

り午前九時三十分より斎行されました。

全国を脅かした邪教オウム真理教の施設の解体とあって

日本全国中の注目を集め、根津宮司以下職員の奉仕により無事祭典が行なわれました。

今回の神事により、上九一色村が以前のような平和な村に戻るよう、二度とあのよう

な忌わしい事件が起きないよう祈っております。

祭典行事暦

(五月～十月)

五月二日～五日 正ノ木祭
六月三十日 夏越大祓

八月 十月一日 富士ヶ嶺開拓祭
十月十九日～二十一日 布団供養祭
金刀比羅祭



夏越大祓式の御案内

大祓は六月三十日と十二月三十一日の年二回半年毎に御皇室を始め全国の神社で執り行なわれ、私たちが知らないうちに犯した罪汚れを祓い清めるための神事です。

六月の祓は、「夏越の祓」とも言われ、半年間の自身を茅の輪をくぐることによって祓い清め、新しい生活を無事過すことができますよう当神

敬神婦人会発足
会員募集中!!



社でも六月三十日に斎行致しますので、是非御家族お揃いで御参拝下さいますよう御案内申し上げます。
詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。

敬神婦人会総会開催

平成九年二月二十二日、会員二十五名の出席者を得て第二回目の総会を開きました。

会計報告、会の規約について

多数の意見を出し合い、正ノ木祭りに向けて今年も御神酒の無料配布又、あらたにバザーをすることに決定し、会員相互の交流を深める総会となりました。

甲府伊勢講ごあんない

瀬戸内離島めぐりと
大山祇神社参拝
二泊三日の旅

人の動き

責任役員

退任 萩野幹雄
平成八年十二月三十一日付

就任 塩島喜代則
平成九年一月十五日付

各平成八年十一月十五日付

就任 宮川睦武
(株)斐延社長

大沢美弘
(太冠酒造社長)

藤沢平司
(藤沢鉄工社長)

名譽総代 小林宏武
(甲府商工會議所会頭)

稽古日 毎週水曜日
午後五時から七時まで
神社参集殿

雅楽会員募集中

厳かな社殿で雅楽の調べの中、古式ゆかしい結婚式を執り行ないます。
御披露宴は百名様まで収容可能な参集殿を御利用いただき事も出来ますので社務所までお問合せ下さい。

神前結婚式

正ノ木稻荷大明神

命縊く食るもの衣もの住むいへも
稻荷の神の恵みなりけり

職員

転任 権禰宜 安藤千里
四月一日付にて千葉県
野田市桜台鎮座桜木神社に転任

オウム教施設解体の神事を終え帰る途中車窓から見た富士山は今まで見たことがないほど素晴らしい奇麗に見えました。お山も喜んでくれたのでしょうか。この自然を絶対に守って行きたいと思いました。(千里)

編集後記